

東京都 立川市 様 子育て支援・保健センター『はぐくるりん』

子育てや健康の安心を支える新拠点

令和7年度
オフィス改革
窓口改善
新庁舎
Topics



窓口

木目調のカウンターにインテリアグリーンを配置した相談窓口。落ち着きと温かみのある印象を与え、ゆっくりと相談することができる。

令和7年5月、立川市は市民の健康と子育ての安心を支える拠点として「立川市子育て支援・保健センターはぐくるりん」を開設しました。この施設は、子ども家庭支援センター、児童発達支援センター、教育支援課といった子育て関連部署を集約するとともに、部署間が有機的に連携することで、子どもの成長過程に応じた切れ目のない適切な支援をすることを目的としています。また、休日診療や検診事業・健康啓発事業などを実施するとともに、有事には、医療の司令塔となる「医療救護対策本部」を、医師会・歯科医師会・薬剤師会と共に設置し、災害時医療の拠点となる役割をも担っています。

新施設は、バリアフリーの設えとなっており、各階に設置した「赤ちゃん・ふらっと」(授乳やおむつ替えができるスペース)や「バリアフリートイレ」など赤ちゃんから高齢者まで、誰もが安全に安心して利用できる配慮がなされております。また、内装や家具には明るい色彩や木目調を採用し、インテリアグリーンを配置するなど、ポスピタリティーを感じる、明るく心地よい空間が構築されています。加えて、眺望を楽しんだり、お子様を遊ばせることができる屋上庭園が整備されています。身体的・精神的に



エントランス 入口の床面に、施設ロゴ「はぐくるみん」のデジタルサインを導入。動きのあるサインがお子様の緊張をやわらげ、親しみを与えます。



休日診療(内科・小児科)待合

複数名での利用や、横になったりできるよう長椅子タイプを採用。張り材には、耐アルコール・耐次亜塩素酸ナトリウム仕様としメンテナンス性に配慮。



オカムラHPでも
ご覧いただけます

プロジェクトの詳細

開 庁	令和7年5月7日
人 口	約186,200人
対象人員	130人
延べ床面積	3,919.28m ²
建物概要	鉄骨造 地上3階
委託業務	子育て・健康複合施設什器 備品整備及び移転計画策定 等業務委託

令和7年5月現在

東京都 立川市 様 子育て支援・保健センター『はぐくるりん』

子育てや健康の安心を支える新拠点

令和7年度
オフィス改革
窓口改善
新庁舎
Topics



赤ちゃん・ふらつと

各フロアに整備され、ベビーカーのまま入室し利用できる授乳スペース。



薬剤検査室

スチール作業台は、細菌やカビが発生し難く、強度と耐薬性に優れた天板を採用。



健康増進室

がん検診や健康体操、研修会などに利用。キャスター付きの軽量家具を採用することで、レイアウト変更の負担を軽減。



多目的室

機微な内容を扱う相談業務は職員の負担が大きく、インテリアグリーンの配置や内装に変化を持たせることで、気分の切り替えにも繋がる。



モニタースタンド・モバイルバッテリー

ペーパレスの観点より、モニター投影による情報を共有。モニターはモバイルバッテリーで稼働し、柔軟に配置を変更することができる。



栄養実習室

キャスター付きテーブルを採用することで、実習内容や人数に合わせフレキシブルなレイアウトの変更が可能に。車椅子利用者用に、上下昇降テーブルを配置。



相談室

リラックスした雰囲気で相談に臨めるよう、カジュアルなソファーなどを配置。お子様づれなどの利用者に最適。



執務室

コミュニケーションの活性化、スペースの効率利用を目的としたグループアドレス制を導入。在席率を考慮し、職員数の85%の執務席とABWスペースを設置。



役職者席

ベンチテーブルの一角にW1400D600の机上スペースの役職席を整備。



一般職席

ワゴンレスの運用とし、W1000D600の机上スペース、ハンガー付き肘なし椅子を採用。



ソロブース

吸音効果のあるハイパーテーションとカーテンで周囲の視線を遮り、集中作業に適した環境を整備。WEBミーティングやオンライン研修などに活用。



ミーティング・ファミレスブース

複数名での打ち合わせや、資料を広げた作業などに利用できるスペース。